

「事業場のメンタルヘルスこころの健康専門家ガイド」の使い方

0. どうやってガイドブックを見るの？

大阪産業保健総合支援センターのHP から



もしくは、『Google』などの検索サイトで「大阪こころの健康専門家ガイド」と入力
<http://osakas.johas.go.jp/kokoro/> を直接検索してください。

トップページ
↓↓↓



1. 検索の方法は2種類あります

1) 条件から検索する

キーワードに「うつ病」、住所に「大阪市」など当てはまるキーワードを入力し、さらに診療曜日の希望日に☑、予約の要不要に☑を入れ、検索をします。

2) 地図から検索する

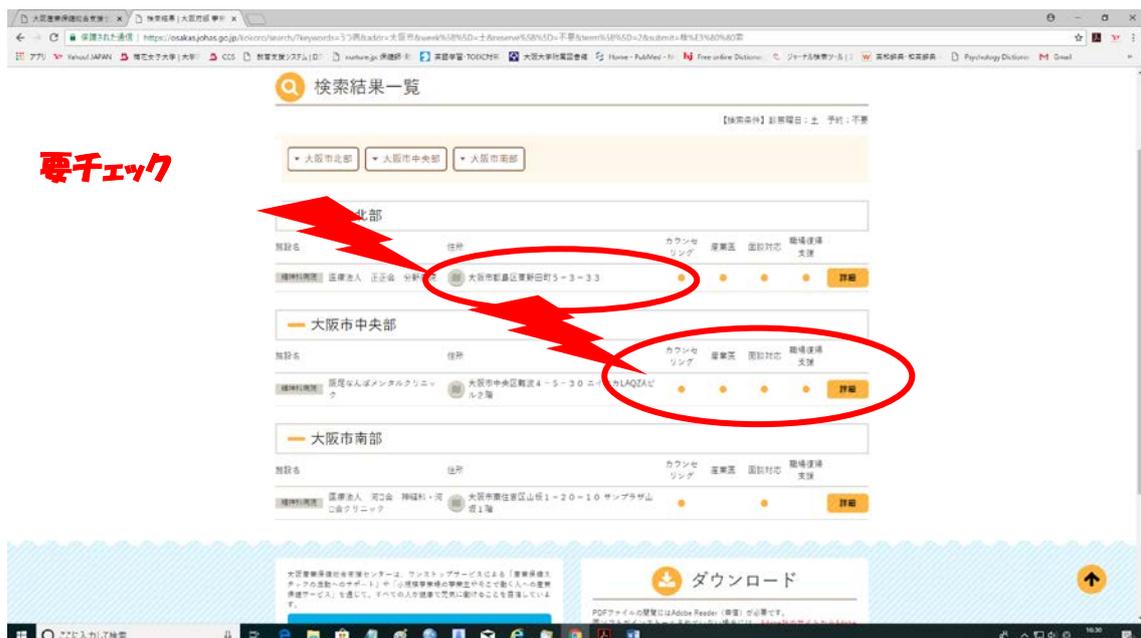
地図に表記されている地域名から検索することができます。
専門医療機関の受診を希望されている従業員と相談し、居住地から通院が可能な範囲で医療機関を検索します。



1. 医療機関の特徴を把握しましょう

1) 医療機関の情報を見る時のポイント

条件から検索後、通いやすい住所にあるか、提供されているサービスの種類（カウンセリング可能、職場復帰支援があるなど）、ご本人の状態やニーズに合わせて選択します。



2-1) 医療機関が精神科専門病院なのか、総合病院の精神科・心療内科なのか、精神科・心療内科クリニックなのかによっても提供されるサービスが異なります。

【精神科専門病院】 入院の可否、医師以外の専門家の配置状況などを把握しておくといでしょう。また、アルコール問題の治療は専門病院が優先されます。

【総合病院の精神科・心療内科】 身体疾患を併発している場合は、総合病院の専門科を紹介することが一般的です。入院施設があるかどうかを確かめておくといでしょう。

【精神科・心療内科クリニック】 特に対応されている疾患や、サービスの内容、医師以外の専門家の配置状況などを把握し、ご本人のニーズに合わせて紹介しましょう。

ガイドブックには、「地域」で検索した際に「施設一覧」に「区分」として、「精神科病院」＝精神科専門病院、「一般病院」＝総合病院の精神科・心療内科、「診療所」＝精神科・心療内科クリニックと表示されています。

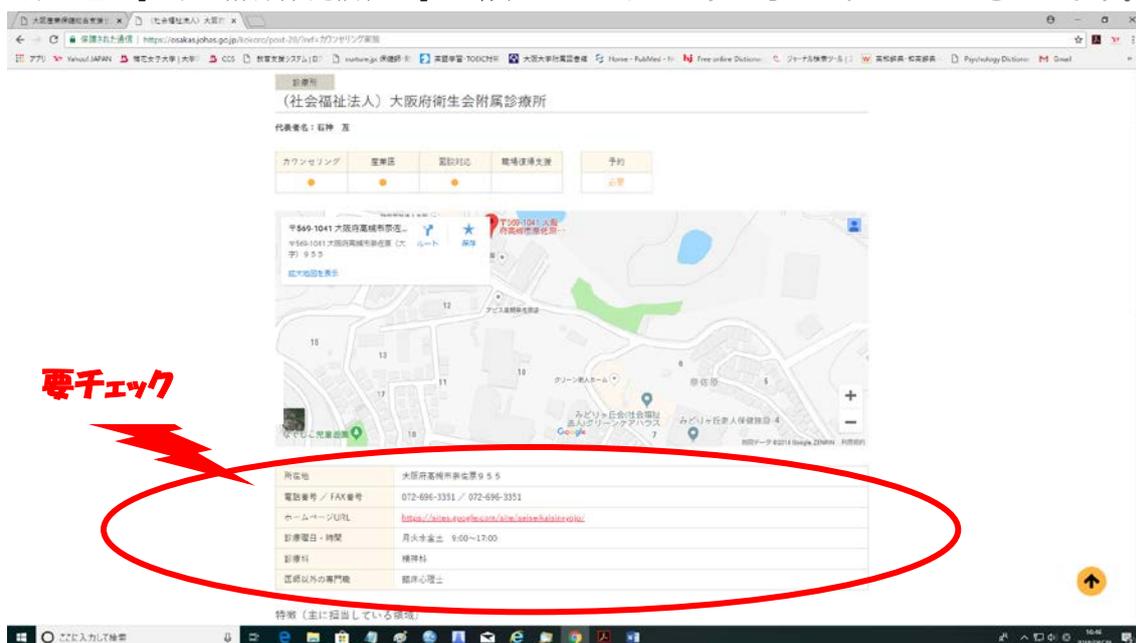


2-2) カウンセリングが可能な医療機関が望ましい場合があります。ガイドブックでは、カウンセリングが可能な医療機関のリストが検索できます。



リストは、地域ごとに並んでいます。候補となる病院やクリニックが見つかりましたら、「詳細」をクリックし、具体的な医療機関の特徴を見てみましょう。

医師以外がカウンセリングを行っている場合もあります。「医師以外の専門職」に、「臨床心理士」や「精神保健福祉士」が存在しているかどうかチェックしておきましょう。



2-3) 業場の担当者が、直接主治医と面談をしたい場合もあります。事業場の担当者との面談が可能な医療機関であるかどうかは、受診を勧める際に確認しておきたい情報です。



「事業場との面談対応施設一覧」をクリックすると、本人の受診の際の同席が可能である場合や、事業場の者との面談が可能な医療機関のリストが表示されます。ただし、面談の費用が発生するかどうかなどは、直接医療機関に問い合わせることが必要です。

2-4) 復職する前に、職場復帰支援（リワーク支援）を受けておいた方が良いと思われる事業場も増えています。医療機関でも職場復帰支援（リワーク支援）のサービスが提供されています。

「職場復帰支援（リワーク支援）のサービス提供施設の一覧」で、サービスを提供している医療機関のリストが表示されます。ただし、サービスを受けるための条件（例：主治医の変更や費用など）があるかどうかは、直接医療機関に問い合わせることが必要です。

2-5) 「産業医資格を持つ医師在籍施設の一覧」で、産業医資格を持つ医師が在籍する医療機関のリストが表示されます。新たな産業医の依頼を受けることが可能かどうか、事業場外資源として事業場との連携が可能かどうか、講演依頼を受けることが可能かどうかといった情報を得ることができます。依頼を検討される場合は、費用やスケジュールなど詳しい内容について直接医療機関に問い合わせることが必要です。